第 10 回骨髄病理研究会　開催報告

本年は、2012 年 9 月 2 日（日）川崎医科大学マルチメディア教室にて、白血病をテーマに開催しました。全国各地より 138 名のご参加を頂き、参加人数としては過去最高を記録しました。まず、この領域のエキスパートである名古屋大学医学部の清井仁准教授に「分子病態に基づく急性骨髄性白血病の層別化」という内容のご講演を、次に川崎医科大学血液内科学の近藤敏範講師に、当院の症例を提示しながら「2008 年 WHO 分類にもとづく白血病の分類法」を講演して頂きました。次いで単球性白血病と blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm の鑑別に関する演題を含め、計 7 例について発表がありました。参加者には事前にカラーのハンドアウトを配布し、当日午前中に、会場にてバーチャルスライドの標本をみていただきました。バーチャルスライドは昨年同様、みなさん操作に良く慣れておられる方ばかりでしたので、特に問題はありませんでした。

今回は第 10 回記念として、参加者による症例クイズの投票を事前に行っていただき、演題発表後に高得点者２名（病理医の部と臨床検査技師の部それぞれ１名）の表彰を行いました。賞品は「倉敷ガラス」でした。

本会を通じて骨髄病理に少しでも多くの方が関心をもっていただけることが本会の最大の目的ですので、若い方々に積極的にご参加いただけたら幸いです。

次回のテーマは“骨髄異形成症候群”で、2013 年 9 月 1 日の予定です。2008 年 WHO 分類に従って分類した MDS およびその関連疾患の骨髄塗抹標本と病理標本、免疫染色標本をバーチャルスライドで見ていただこうと考えています。

開催概要　2012 年 9 月 2 日

川崎医科大学校舎棟7階マルチメディア教室＆ラウンジ

8:30-11:15　バーチャルスライドによる症例の鏡検

11:15-11:28　共催社情報提供ヒト化抗　CCR モノクローナル抗体　協和発酵キリン株式会社

11:30-12:30　**≪特別講演≫**

座長　杉原　尚先生（川崎医科大学　血液内科学）

演者　清井　仁先生（名古屋大学大学院医学系研究科　血液・腫瘍内科学　准教授）

「分子病態に基づく急性骨髄性白血病の層別化」

「質疑応答」

12:30-13:10　昼食（お弁当配布，ラウンジで会食）

13:10-13:40 **≪教育講演≫**

座長　通山　薫先生（川崎医科大学　検査診断学（病態解析））

演者　近藤　敏範先生（川崎医科大学　血液内科学）

「2008 年 WHO 分類にもとづく白血病の分類法」

13:45-14:50 **≪症例発表 1≫**

座長　伊藤　雅文先生（名古屋第一赤十字病院　病理部）

13:45-14:00　塚本　拓先生（倉敷中央病院　血液内科）

「凍瘡様皮疹で発症し、皮膚生検で leukemia cutis と診断した急性骨髄性白血病の一例」

14:00-14:15　山下　理子先生（徳島赤十字病院　検査部）

「CAM5.2,CD4,CD56,CD68,lysozyme 陽性腫瘍で発症し、白血化を来した一例」

14:15-14:30　江中　牧子先生（名古屋第一赤十字病院　病理部）

「Blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm ?」

14:30-14:45　大石　直輝先生（山梨大学医学部附属病院　病理診断科）

「Blastic plasmacytoid dendritic neoplasm の一例」

－休憩－

15:05-15:00　**≪症例発表 2≫**

座長　和田　秀穂先生（川崎医科大学　血液内科学）

15:50-15:20　増田　亜希子先生（東京大学医学部附属病院　検査科）

「Acute undifferentiated leukemia と診断された一例」

15:20-15:35　大田　泰徳先生（虎の門病院　病理部）

「興味深い骨髄の芽球分布と胸水に多数の赤芽球を認めた AML wit myelodysplasia -related changes の一例」

15:35-15:50　藤原　英世先生(川崎医科大学　病理学 1)

「赤芽球マーカーを発現した骨髄肉腫の 1 例」

15:55-16:05　表彰式、閉会の挨拶

共催：骨髄病理研究会　　協和発酵キリン株式会社

後援：日本リンパ網内系学会（認定番号1）